

教育プログラム・コースの概要

| | | | | | | | |
|-------------------------|---|-------|-------|-------|-------|-------|---|
| 大学名等 | 熊本大学大学院 薬学教育部 | | | | | | |
| 教育プログラム・コース名 | ライフステージに応じたがん対策を推進するがん専門薬剤師コース（インテンシブ） | | | | | | |
| 対象者 | 臨床薬剤師 | | | | | | |
| 修業年限（期間） | 3カ月 | | | | | | |
| 養成すべき人材像 | 小児、壮年、高齢者といった異なるライフステージにおけるがん治療に対して、抗がん剤治療の効能・効果及び副作用モニタリングができ、質の高いがん薬物療法を推進することができる薬剤師 | | | | | | |
| 修了要件・履修方法 | 本教育プログラム・コースで定める講義を受講し、実際のがん薬物療法の実務・チーム医療に参加する。 | | | | | | |
| 履修科目等 | <p>講義 がん薬物療法に係る薬剤管理指導（複数のがん種）、副作用モニタリング、レジメン管理、外来化学療法時の服薬指導、緩和医療、臨床腫瘍学、臨床薬理学</p> <p>実務・チーム医療の実践 がん患者の病態理解と薬学的管理・介入の実践、レジメン管理登録・抗がん剤調製、疼痛マネジメント、がん化学療法における多職種連携（病診連携を含む）の実践</p> | | | | | | |
| 教育内容の特色等（新規性・独創性等） | がん薬物療法の系統講義および実務・チーム医療の実践を行い、職種間の相互理解を推進し、様々なライフステージの患者に対応した、より効率的ながん薬物療法の実践を可能とする教育を行う。外来化学療法センターとも連携・協力体制をとり、個別対応の困難な患者に対して高度ながん治療を実践することが可能になり、がん治療の均てん化に貢献できることが特色である。 | | | | | | |
| 指導体制 | <p>がん薬物療法に関する高度な知識・技術を有した以下の薬剤師・教員らが指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本医療薬学会認定 がん指導薬剤師、がん専門薬剤師 ・日本病院薬剤師会認定 がん薬物療法認定薬剤師 ・日本臨床腫瘍薬学会認定 外来がん治療認定薬剤師 | | | | | | |
| 教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想 | 本コースを修了した薬剤師は、日本医療薬学会（がん指導薬剤師、がん専門薬剤師）、日本病院薬剤師会（がん薬物療法認定薬剤師）などの認定取得を経て、がん領域における薬物療法等についての高度な知識と技術を用いて、医療機関において質の高いがん薬物療法の促進に貢献する。 | | | | | | |
| 受入開始時期 | 平成30年4月 | | | | | | |
| 受入目標人数 | 対象者 | H29年度 | H30年度 | H31年度 | H32年度 | H33年度 | 計 |
| | 臨床薬剤師 | 0 | 2 | 2 | 2 | 2 | 8 |
| | | | | | | | 0 |
| | | | | | | | 0 |
| | | | | | | | 0 |
| | 計 | 0 | 2 | 2 | 2 | 2 | 8 |